

コメント

1. **麻疹 (成人麻疹を除く)**

前週までは散発的な報告にとどまっていたが、第20週は6人 (定点当り0.25人) 報告されています (東区5人、西区1人)。麻疹は4月から6月ごろが流行期にあたることから、今後の動向に注意してください。

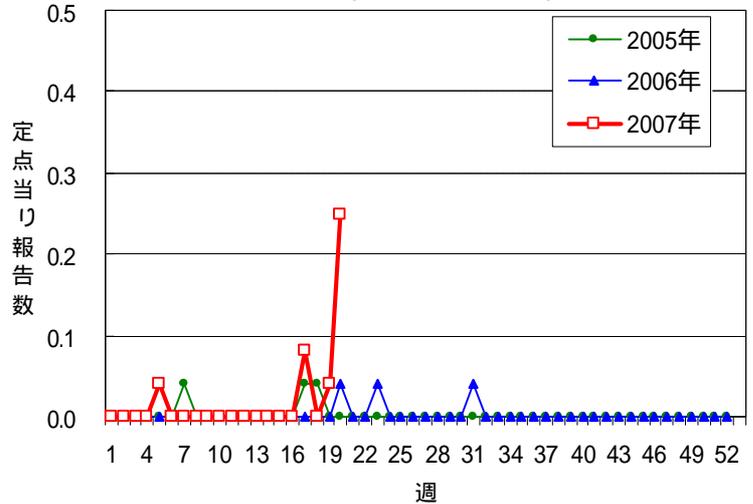
2. **インフルエンザ**

定点当り0.51人と大きく減少しています。ほぼ終息したものと考えられます。

3. **水痘**

定点当り2.50人とやや減少しています。安芸区では6.5人となっています。

麻疹 (成人麻疹を除く)



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	19	0.51	1.11	↓	麻疹 (注3)	6	0.25	0.03	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.30		流行性耳下腺炎	6	0.25	1.51	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.76	↔	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	140	5.83	6.06	↔	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	60	2.50	2.25	↔	流行性角結膜炎	1	0.13	1.00	
手足口病	11	0.46	1.02		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	10	0.42	0.35		無菌性髄膜炎	-	-	0.20	
突発性発疹	19	0.79	0.69		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.26	
百日咳	-	-	0.01		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	9	0.38	0.19						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間 (RSウイルス感染症は3年間の同時期平均 (定点当り))
 (注2) 鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	2	24	男性 (80歳代)、女性 (80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	男性 (10歳代)・O157

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(注3)	成人麻しん
広島市	第16週	300	9	41	169	28	2	6	14	-	-	5	-	5	-	-	9	-	-	7	-	1
	第17週	226	13	36	179	45	3	4	12	-	-	-	2	2	-	-	2	-	-	6	-	-
	第18週	81	5	14	96	36	5	5	4	1	-	6	-	1	-	-	6	-	-	1	-	-
	第19週	40	10	36	170	66	8	9	18	-	-	6	1	1	-	1	4	-	-	2	-	-
	第20週	19	8	32	140	60	11	10	19	-	1	9	6	6	-	-	1	-	-	4	-	-
広島市	第16週	8.11	0.38	1.71	7.04	1.17	0.08	0.25	0.58	-	-	0.21	-	0.21	-	-	1.13	-	-	1.00	-	0.14
	第17週	6.11	0.54	1.50	7.46	1.88	0.13	0.17	0.50	-	-	-	0.08	0.08	-	-	0.25	-	-	1.00	-	-
	第18週	2.19	0.21	0.58	4.00	1.50	0.21	0.21	0.17	0.04	-	0.25	-	0.04	-	-	0.75	-	-	0.14	-	-
	第19週	1.08	0.42	1.50	7.08	2.75	0.33	0.38	0.75	-	-	0.25	0.04	0.04	-	0.13	0.50	-	-	0.29	-	-
	第20週	0.51	0.33	1.33	5.83	2.50	0.46	0.42	0.79	-	0.04	0.38	0.25	0.25	-	-	0.13	-	-	0.57	-	-
全国	第18週	2.57	0.22	1.23	4.17	1.48	0.16	0.47	0.35	-	-	0.06	0.03	0.29	-	0.02	0.48	0.02	0.01	0.33	0.01	0.06
	第19週	1.58	0.43	2.19	6.43	2.91	0.25	0.73	0.70	0.02	-	0.15	0.07	0.52	-	0.05	1.01	0.02	0.02	0.51	0.02	0.12

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	不明	男	2007/05/07	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
咽頭結膜熱	0	男	2007/04/01	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
肺炎	2	男	2007/03/31	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB4型

【参考】広島市における今年の麻しん(はしか)報告状況 (第20週まで)

1.麻しん(成人麻しんを除く小児科定点24か所)()

No.	週(期間)	年齢区分	性別
1	第5週(1月29日~2月4日)	1歳	女
2	第17週(4月23日~29日)	7歳	男
3	第17週(4月23日~29日)	10~14歳	女
4	第19週(5月7日~13日)	6~11か月	女
5	第20週(5月14日~20日)	6~11か月	女
6	第20週(5月14日~20日)	1歳	男
7	第20週(5月14日~20日)	9歳	男
8	第20週(5月14日~20日)	10~14歳	男
9	第20週(5月14日~20日)	10~14歳	男
10	第20週(5月14日~20日)	20歳以上	男

2.成人麻しん(15歳以上・基幹定点7か所)

No.	週(期間)	年齢	性別
1	第16週(4月16日~22日)	18歳	男

3.学校等の施設からの麻しんの報告

(同一施設で複数の患者が発生した事例の報告)

施設種別	中学校	高等学校	大学	計
施設数	1	1	1	3

()小児科定点医療機関で診断された麻しん患者は、届出基準の上では15歳未満を報告することになっていますが、実際は15歳以上や20歳以上の患者も報告されています。

東京都や埼玉県を中心とした関東地域で麻しんが流行しており、他の地域にも広がる傾向にあります。麻しんは乳幼児に多い疾患ですが、今回の流行は、10代、20代の患者が多いことが特徴となっています。

広島市の感染症発生動向調査に基づく小児科定点医療機関からの報告では、前週までは散発的な報告にとどまっていたのですが、第20週に6人の報告がありました。

また、5月に入ってから、学校で複数の患者が発生する事例が3件報告されています。

麻しんの感染力は非常に強く、麻しんの免疫を持たない集団で麻しんが発生すると、急速に感染が拡大するため注意が必要です。予防のためには**予防接種**が有効です。

予防接種法に基づく定期予防接種の対象年齢であるお子さんは、予防接種(麻しん・風しん混合ワクチン)を無料で受けることができますので、できるだけ早く受けるようにしてください(1歳児と小学校就学前1年間の2回)。

定期予防接種の対象年齢以外の方でも、任意で予防接種を受けることができます。(ただし、予防接種にかかる費用は、全額自己負担となります。)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第20週(5月14日~5月20日)